

## 区別計画の総論・区ごと圏域（素案）

## （総論）

## 1 区別計画の目的

区制施行 20 年以上が経過し、地域における各種の施設整備や面的な基盤整備も格段に進むなど、地域の特性に応じて各区ともに発展してきており、また区民という意識も定着し、地域活性化や安心・安全を始め多様な地域活動が広がりつつある。

今後、少子高齢化がさらに進み人口減少も展望されるが、市民の暮らしの基本は住んでいる地域にあることから、それぞれの地域環境がより良くなるよう引き続き求められる。

地域の課題やニーズは、人口の動向や自然環境・都市機能の状況など、地域特性に応じて様々であり、各区ともに、地域ごとの状況や特性に応じたきめ細かな対応を、区民とともに進める観点をさらに強めていく必要がある。

この区別計画は、そういった観点を基本とした重点政策＊に掲げる「きめ細かな地域政策の推進」の方向に沿って、各区とその区民とが将来ビジョンを共有し協働しながら、安心・快適で活力のある地域社会づくりを進めるために策定する。

## 2 区別計画の構成

5 つの区ごとに、区別計画を定めるものとし、その構成は以下のとおりとする。

## （１）区の将来ビジョン

区ごとに、特性や各種の動向、課題認識のもとに、基本計画の計画期間である 10 年後を想定した区ごとの将来ビジョンを掲げる。

## （２）区の主な施策の基本方向

重点施策や分野別計画に基づく各種の基盤や施設の整備方向、区が市民協働により主体的に取り組む主要な政策分野における基本方向等を体系的に取りまとめる。

## （３）圏域ごとの主な施策の基本方向

区は、多様な特性や資源を持つ地域の集合体であるが、区ごとに、日常生活圏としての一体性、土地利用や都市機能等の地域特性、将来的な課題や発展方向などが類似する圏域があることから、この圏域ごとに、その特性や各種の動向、今後の展望や課題認識のもと、主な施策の基本方向を取りまとめる。

## （４）区の地域区分図

土地利用や交通・都市機能等の都市空間形成の方向、圏域の区分、新たな一定規模以上の施設配置などを図示する。

## 3 市民協働による区別計画の深化

区別計画は、区の将来ビジョンのもと、区と圏域ごとの主な施策の基本方向を定めるものであるが、安心・快適で活力のある地域社会づくりに向けた、より具体的な取組みについては、各区とその区民との協働により、深化させていく。

( 区別計画 区ごとの圏域 )

1 青葉区

都心地域

都心周辺地域

丘陵住宅地域

愛子及び周辺地域

西部山岳丘陵地域

2 宮城野区

都心及び周辺地域

丘陵住宅地域

北部住宅・田園地域

東部住宅・産業・田園地域

3 若林区

都心及び周辺地域

郊外住宅地域

流通・工業地域

田園・海浜地域

4 太白区

南部拠点地域

名取川右岸地域

丘陵住宅地域

太白山周辺地域

秋保地域

5 泉区

北部拠点地域

泉北部丘陵住宅・産業地域

泉南部丘陵住宅地域

泉ヶ岳及び西部田園地域